

東京都臨床検査技師会 平成24年度 第8回理事会議事録

日時：平成24年12月20日（木）19時00分～21時00分

場所：都臨技事務所

出席者：下田，千葉，小松，宮崎，高城，原田，中西，井上，鈴木，工藤，土橋，蝶名林，石橋，大野，杉岡，三橋，多田，佐藤，松村，東海林監事，遠藤監事，沖田役選委員

議長：下田

1. 行動報告（理事）

11月22日（木）	編集委員会	高城，蝶名林
11月26日（月）	学術部会	高城，蝶名林，大野
11月27日（火）	学会運営部	小松，高城，中西，蝶名林，大野
11月30日（金）	監理会議	下田，高城，原田，中西，鈴木，工藤
12月3日（月）	表彰選考委員会	千葉，工藤
12月4日（火）	HP運営委員会	宮崎，高城，井上，鈴木，工藤
12月6日（木）	会計部会	鈴木，土橋
12月11日（火）	学会運営部	高城，中西，蝶名林，大野
12月13日（木）	渉外部会	千葉，原田，多田，佐藤

2. 報告事項

1) 平成24年度第7回理事会議事録の内容確認

2) 各部局報告

○組織部

【報告事項】

<部長報告>

1) 部長報告

<施設連絡者会議に関して>

日時：平成25年2月8日（金）19時～（受付18時30分～）

場所：社会保険中央病院

年内に案内の送付を行い，返信はFAXとする。

<健康まつりでのクレームに関して>

測定後指先が痺れるといった相談が新宿区へあり中部地区で対応した。その後，連絡その他ありません。

2) 各地区報告

<東部地区>

・特記事項無し

<西部地区>

・公開講演（がんばれ メタボ対策）

12月8日（土）15:00～17:00 渋谷，宇田川レンタルスタジオ Ast

総参加人数：25名（会員12名，非会員13名）

<南部地区>

・特記事項無し

<北部地区>

・いたばし健康ネット博 2012

11月22日（木）板橋区立グリーンホール

血管年齢測定 総参加人数：249名（男性37名，女性212名）

乳がん健診体験（日臨技助成） 総参加人数：女性47名

<中部地区>

- ・特記事項無し

<多摩地区>

- ・特記事項無し

<フォーラム委員会>

「これが聞きたい！！チーム医療」～事例から学ぶ院内感染対策～

日時：平成25年1月19日（土）15時～18時

場所：堀場製作所

<組織部・学術部合同研修会について>

- ・多摩地区 11月14日（水） これで安心！夜間・休日・緊急検査 輸血
総参加人数：83名（会員81名，非会員2名）
- ・東部北部 11月16日（金） 「困らない夜間・休日検査のために」－血球検査編－
総参加人数：38名（会員38名）
- ・南部西部 11月20日（火） 間違いのないデータ報告に向けて
－困らない夜間・休日検査のために－一般検査編
総参加人数：38名（会員38名）

○渉外部

【報告事項】

- ・街頭活動

中野サンプラザ周辺で午前10時より都臨技作成絆創膏1000枚を配布した。

参加者：板橋，上前泊，神田，木村，桜庭，神保，中山，宮後，森（STI委員）

加藤，大久保（サポートメンバー）

福良（渉外部）

佐藤，原田（理事）計14名

- ・公開講演会「ココ・カラ発信！～こころとからだの守りかた～」

場所：中野サンプラザ

講師：「心を病んだ人への接し方」渡辺 登先生（日本大学医学部 精神医学分野 教授）

「ここまで進化した！性感染症の考え方～ダメージを最小限にするために～」

澤村 正之先生（新宿さくらクリニック 院長）

総参加人数：57名（会員35名，一般19名，学生3名）

- ・今後の技師会行事予定

1月11日（金） 新春のつどい アルカディア市ヶ谷 3階富士の間 19：00～

2月8日（金） 施設連絡者会議 社会保険中央病院 4階講堂 19：00～

2月17日（日） 第9回東京都医学検査学会 東医健保会館

- ・今後のSTI予防教室予定

3月13日（水） 10：40～12：30 都立練馬工業高校

3月中旬（予定） 都立科学技術高校

【検討事項】

<臨床検査技師養成校への技師会PRについて>

- ・今年度も昨年同様技師養成校へ，技師会入会PRを実施する。
- ・資料必要枚数など事前アンケート調査時に平成23年度卒業生への案内配布物を例として同封する。
- ・送付は，都内技師養成校11校とし，アンケート回答期限は，1月18日とする。
- ・今回の送付物は，昨年同様技師会に入会するメリット（日臨技・都臨技のPR）と減免入会の案内と入会申込書とする。（減免入会については，次回の理事会審議とする。）

<技師会手提袋について>

今年度は，昨年同様紙製の手提袋を作成する予定であったが，新たにエコバックを検討することとした。

まず，見本等を取り寄せて審議することとする。

<来年度予定>

- 5月 看護フェスタ
- 7月 学生対象講演会（臨地実習を中心に）
- 11月 学生対象講演会（就職・検査技師資格を活かした検査部門以外の職場について）
- 12月 公開講演会

○学術部

【報告事項】

- ・前回議事録確認

【理事会報告】

- ・来年度予算案を検討

遊休財産が多いと公益法人として認められないということで、一定金額を研修会場取得のための積立金として確保することとなったこと。また、研修会場は100人規模を収容できる場所を考えていること。

について報告があった。

- ・共催および協賛の取り扱いについて

学術部からの提案だった上記取り扱いについては監理会議で検討することになったと報告があった。

- ・公益法人認可に向けて各部局内規の見直しが必要であるとの報告があり、討議することとなった。（討議事項参照）
- ・公益法人の認可が降りた段階で新しい定款となり、学生会員、都臨技のみ会員ができることが報告された。
- ・研修会に参加する非会員（学生も）からは参加費を徴収することになることが報告された。

報告内容を整理すると研修会の参加費は以下の通り。（特別講習会を除く）

会員：無料

非会員：1000円

（この非会員には日臨技のみ会員・他県のみ会員・日臨技も各県技師会にも加入していない人・学生で学生会員ではない人）が含まれる。

年度途中で都県をまたいで移動した場合、今までは移動先の技師会に（年会費の差額を納めることなく）

自動的に登録されていたが、来年度からはそのようなことがなくなるため、会費を納めた都県の技師会の会員として扱うと報告された。

学生で学生会員ではない人からも参加費を徴収することになるが、学生会員の会費が500円程度（調整中）になると見込まれていることから、その場で会員になるように促すのが良いのではないかと報告された。

<編集委員会報告>

- ・来年度の各研究班の予定表を来週までに提出してほしいこと
- ・H24の事業報告は2月末までの提出であるが、もし3月に研修会の開催予定がある場合は終了後、早急に送ってほしいこと
- ・来年の会誌の表紙の色は赤になること
- ・2月号の特集は輸血研究班が担当であること

<データ標準化・精度管理調査委員会報告>

- ・サーベイが実施され、目標値設定を行ったこと
- ・本年は日臨技の施設認証制度へ登録を希望している施設があり、サーベイの結果報告書を申請書類に添付したいとの申し出が複数施設からあったため、該当施設については仮報告書を発行して対応したこと
- ・報告値の誤入力と思われる報告があった施設については報告値の確認を依頼中であること
- ・詳細な解析は今後実施予定であること

<学会関係>

①第9回東京都医学検査学会について

- ・座長推薦を11月末までに報告してほしい。
- ・実務委員は半日拘束とし、行動費は5000円支給し、弁当も出す。
- ・以前、実務委員として参加可能な方を調査したが、基本的に全員採用させていただく予定。
- ・学会参加費（2000円）は実務委員・座長にも払っていただく。

②第2回日臨技首都圏支部学会

研究班企画はシンポジウム形式でお願いしたいとの学会長の以降が報告された。

時間は2時間程度。会場の収容人数は100~150名程度の見込み。4名程度のシンポジストを立てるのが妥当ではないかと思われた。

<来年度予算について>

各研究班より提出していただいた予算案は、特に削られることなく計上されていること。

尚、会員増加に伴い、会誌の印刷部数が増えるため、この分の修正を行う予定。との報告があった。

【討議事項】

学術部内規の見直しについて討議を行った。

修正・追加が必要と思われる箇所については以下の意見が挙がった。(概略のみ記載)

- ・学術部会についての文言を追加

学術部を構成する人員、学術部が掌握する範囲等について追加すべき。

- ・研究班員の任期について

現状では1期2年としているが、かなり長期間幹事の方もいる。

若い人への世代交代や育成という観点から、期限を設けたほうが良いのでは。

任期は5期・10年程度が妥当なのではないか。

はっきりと制限を設けず、長期にはしないようにという文言にするのがよいのではないか。

10年という期間は妥当だと思われるが、班長として研修会運営ができるようになるまでを考えると、

この期間は短いかもしれない。

班長が交代し、次の班長になった場合、前班長は引継ぎやサポートも兼ねて残ってもらったほうがよい。

等の意見が挙がり、各研究班員の意見を聞いてもらうこととなった。

- ・賛助会員による協賛・共催・後援について

組織にも関わる部分があることから「別に定める共催等に関する規定に基づき」という文言に修正。

これに伴い、協賛・共催・賛助会員宣伝費・後援についての記載内容を削除。

- ・研修会の参加費について

学生会員の追加と参加費の修正。

- ・特別講習会の行動費について

「別に定める役員行動費規定による」という文言に修正。

- ・日臨技の組織再編について、該当する記載箇所について現状に則した修正を実施。

上記意見踏まえ、高城学術部長が取りまとめることとなった。

○学会運営部

【報告事項】

<第9回東京都医学検査学会>

- ・都臨技会誌2月号別刷り(各会員に配布)
- ・予定原稿(会長挨拶・目次・案内図・日程表・学会運営のお知らせ・プログラム・抄録・協賛メーカー一覧
実行委員名簿・広告)

<第2回首都圏支部医学検査学会>

(1) 予算案の策定 ①抄録集については、首都圏支部全会員に配布予定

②委託業者選定(次回継続審議)

③実務委員行動費(人数・支給費用検討)

(2) 学会ロゴマーク 案に基き決定した

(3) 公開講演 ①竹内 誠先生(江戸東京博物館館長)1月中旬まで返答待ち

②榊ライオン テーマ 「オーラルケア関連」

講演担当部門検討中 決定次第依頼状発送

(4) 特別企画 ①都臨技企画 企画案検討中

②研究班企画・組織部企画

各企画案を1月末までに提出してもらい、企画委員会で検討

- (5) 健康展 公開講演とタイアップして歯科衛生士会にブース依頼を検討
- (6) メーカー協賛 展示コマ数, メーカー負担金額について検討
- (7) 学会公示
 - ①HP立ち上げ準備
 - ②都臨技会誌2月号に学会案内を掲載
 - ③演題募集期間 平成25年4月1日～5月末日予定
 - ④学会事務局長 宮崎副会長に依頼
- (8) 学会懇親会 ケータリングで, KFCホール(第1会場)にて実施。(土曜日18:00～)

○庶務部

【報告事項】

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告(平成24年11月30日現在)
- 会員数 4,290名
- 平成24年度賛助会員数 73社

○会計部

【報告事項】

- ・平成24年11月の予算管理月報, 他3表を作成し報告
- ・平成24年11月30日現在の会費収入状況報告
- ・平成24年11月の主な事業活動収支報告
- 収入: 事業収入(データ標準化参加費)
- 支出: 事業支出(メタボリックに関する印刷費用)など
- ・公益申請についての確認を行った.

○事務局

【活動報告】

- ・11, 12月の事務局の主な活動
- 医療従事者ネットワーク連絡協議会への参加報告(宮崎副会長).
- 賛助会員向け平成25年度会費納入願いの発送
- 事務局HP会議
- 新春のつどい案内状発送(来賓31通, 受賞者4通)
- ・平成24年度医療従事者ネットワーク連絡会の報告
- 日時: 11月27日(火)18:30～20:10
- 場所: 都庁第一本庁舎 116会議室
- 参加団体: 12団体(看護協会・診療放射線技師会・理学療法士会・作業療法士会・臨床工学会など)
- 主な議題
 - ① 公益法人制度改革に向けての状況報告
 - 公益社団へ移行済み 5団体
 - 一般社団へ移行済み 3団体
 - 公益社団へ移行中 2団体(東京都栄養士会は10月に申請済みで結果待ち)
 - 一般社団へ移行中 1団体(東京都医療社会事業協会)
 - 東京都言語聴覚士会 公益社団も一般社団も今後の検討課題.
 - ② 平成24年度看護フェスタについて
 - 東京都看護協会より各団体に対し, 来年度の協力依頼があった.
 - 各団体の協力も大きいので「看護フェスタ」という名称については今後 検討予定であるが, 来年度は「看護フェスタ」に決定している.
 - 新宿区より来年度からは「一日診療所開設」とするよう指導があったため, 平成25年度からは手続きをする予定であるとの報告があった.

③ 東京都における災害医療体制について

東京都は平成 23 年 12 月に災害医療協議会を設置し、検討してきた。この検討結果を東京都地域防災計画、東京都保健医療計画に反映させるとともに、具体的な取り組みを進めるとの報告があった。

東京都理学療法士会、東京都作業療法士会、東京都言語聴覚士会は既に「PT-OT-ST.NET」という協力体制を構築しており、「命から生活へ」をテーマとして災害および在宅医療・在宅リハビリについての支援が可能であることを東京都へアピールしていた。

④ 医療従事者ネットワーク事業について

平成 23 年度東京都後援名義の承認実績

「申請手続きが煩雑であることは認識している」としたうえで、「各団体からの積極的な申請をお願いしたい」との依頼があった。

平成 23 年度医療従事者ネットワーク講演会実績および平成 24 年度医療従事者ネットワーク講演会の予定について提示された。

日時が確定次第、各団体へ案内を送付するので、広報をお願いしたいとの依頼があった。

・事務局 HP 会議

主な議題 1) 会員区分による問題点

①年度途中の転職等による入会

②都臨技会員以外の研修会参加費

③学生会員のメリット、入会方法、有効期限、正会員への移行手続き

④入会申込書

以上の内容について問題点、解決点、疑問点などを抽出した。

2) ホームページの掲載の依頼方法についての確認

・事務所年末年始休暇

平成 24 年 12 月 28 日（金）～平成 25 年 1 月 4 日（金）

【検討事項】

・平成 24 年度予算総会 開催期日の検討（場所は社会保険中央病院を予定）

平成 25 年 3 月 14 日（木）を第一候補として調整することとなった。

・都臨技会員規程（案）の検討

従来の慶弔規定を会員規程と名称を改め、慶事、見舞金をなくし、災害見舞金の給付を新規に設けたい。

・トータル保険サービスより会員向け案内の送付の協力依頼書が提示されたが、会員の個人情報保護などを尊重し今回は見送る方針とした。

3) 各委員会報告

○編集委員会

【報告事項】

・東広社より 2 月号の校正状況について報告があった。

【検討および確認事項】

・原稿で口語調のものが見受けられる。入稿の際には文書をよく確認の上、提出すること。

・今年度はカラーページが多く、会員数が増加しているため予算が厳しい状況。

要旨にスライドを載せるケースが多く、画質維持のためにカラーになってしまう。

基本的にはグラフなどもモノクロ掲載を前提として原稿の準備をする。（写真などは要相談）

・日臨技より会誌論文の推薦依頼が来ているが、今年度は掲載が無かったため推薦なし。

・次年度シリーズ「検査技師に知っていて欲しい知識」について

平成 25 年 5 月号は看護師に依頼。内容は患者補助や急変時対応について。

8 月号は東京女子医大のリハビリ科の方に依頼。内容は患者の移動補助などについて検討中。

・平成 25 年 2 月号会誌について

都臨技学会の抄録集、議案書も同封される。

- ・東京都医学検査学会について
一般演題は 55 演題が集まった。
- ・次年度会誌の色について、明るい赤色の色に決定。表紙の文字は白抜き。
- ・会誌論文について
都臨技学会の演題の中から論文を書いてもらえないか検討。
賞を作り、座長推薦で受賞者を決め、原稿を依頼する形式はどうか。
会誌が年 4 回のため、4 演題が望ましい。
以上を編集委員会の意見として、学会企画委員へ提出する。

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（11 月）
都臨技研修会 9 件 登録者数 542 名
- ・申告
会場研修 6 件 登録者数 9 名

○役員選出委員会

【検討事項】

- ・開催なし

○表彰選考委員会

【報告事項】

<平成 25 年度秋の叙勲・褒章推薦について>

推薦候補として 岩田 進 氏(元日臨技会長，都臨技名誉会員)を検討。

永瀬委員から打診して頂いた結果推薦を受諾して頂いた。岩田氏には早急に提出書類の作成をお願いし、平成 25 年度秋の叙勲・褒章推薦の依頼が届き次第書類等を提出できるように準備することとした。また提出書類等の作成が提出期日に間に合わないようであれば平成 26 年度春の叙勲・褒章推薦を目指すこととした。

<小島三郎記念技術賞候補者について>

前回、推薦候補者として東邦大学医療センター 大森病院 奥田 誠 氏を選出し安部委員より打診していただいた結果、本人の了承が得られたので正式に推薦候補者とし、提出書類作成を依頼した。

<福見秀雄賞候補について>

沖田 政義 氏に現在提出書類作成を依頼中。書類が提出され次第、内容を確認し依頼が届き次第提出できるように準備することとした。書類の確認は飯野副委員長が担当する。

【検討および確認事項】

- ・東京都功労者表彰(都知事)の推薦候補者については選考要件等の推薦基準から今後の検討とするが、その基準からすると都臨技からの推薦はかなり難しいと考える。

- ・日臨技「医学検査」の論文表彰について

平成 24 年医学検査 11 月号に推薦募集が掲載された優秀論文賞の候補論文として原著 7 編，研究 2 編について表彰選考委員会で推薦の可否を検討する事となりその中で次の 5 編に絞られた。

上東野誉司美ほか「前立腺生検後の尿中に出現する特有な形態を示す赤血球の検討」

阿部正樹ほか「Dimension によるタクロリムス測定における偽高値の解析」

滝沢旭ほか「市販ビタミンサプリメント剤(ビタミン B2)の経口摂取による尿中排泄の経時的推移」

以上 3 編については推薦決定とする。

下記の 2 編については学術部に依頼し意見を聞くこととし、その結果で推薦の可否を決定することとする。

安部信行ほか「超音波変位法による stiffness parameter β と CAVI ならびに IMT についての検討」

手塚俊介ほか「未治療症候性多発性骨髄腫における骨髄異形成の合併についての検討」

推薦締め切りは平成 25 年 1 月 22 日(火)必着

- ・その他各賞受賞者に該当する人選について
緒方富雄賞，藤田光一郎賞等の推薦候補者を検討する。
- ・他の学会等から表彰されている都臨技会員の検索については今後も懸案事項とし継続して行くこととする。

3. 審議事項

○渉外部

平成 25 年度新規入会者（新卒者対象）減免制度の実施有無について
例年通り 2500 円の減免，期間は 7 月 31 日（状況により理事会審議にて変更可とする）として承認された。

○庶務部

新入会員 11 名が提示され，承認された。

○賛助会員申請について

株式会社トルネックスより平成 25 年度賛助会員申請書が提出された。具体的な入会理由（趣意書）を添えて
次回再度審議できるよう継続となった。

○平成 25 年度予算案について

鈴木会計部長より平成 25 年度予算案が提示され，承認された。

4. 共催許可願い書および特別講習会許可願い書について

○免疫血清検査研究班より共催許可願い書が 1 件提出され，承認された

講演名：食物アレルギー診療と好塩基球活性化試験

期 日：平成 25 年 2 月 28 日（木）18:30～20:00

会 場：東京医科歯科大学 3 号館予定

講 師：佐藤 さくら 医師 国立病院機構相模原病院 臨床研究センターアレルギー性疾患研究室

賛助会員名：協和メデックス株式会社

5. 後援および名義使用許可願い書について

○多摩地区より後援および名義使用許可願い書が 1 件提出されたが，①後援金徴収について②書類提出ルートの 再確認。の 2 つの条件を満たした上での承認となった。

講演名：第 6 回多摩尿検査講習会

期 日：平成 25 年 2 月 23 日（土）14:00～18:00

会 場：府中グリーンプラザけやきホール

講 師：上村 治 医師 あいち小児保健医療総合センター ほか

主催：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

6. その他

○東海林監事より，平成 24 年度中間監査報告書が提示され報告された。

平成 24 年 12 月 20 日 (木)
(社) 東京都臨床検査技師会

議 長
(下田) 印

監 事
(東海林) 印